

大学教育での初導入、インターンシップ学生と企業でつくる企業価値デザイン志向の未来

地域企業・地方連携ゼミ:600時間の長期臨地実習(インターンシップ)を行う3年次の学生・指導教員対象に経営デザインシートについての講義を開催し、実際に自らの10年後を構想するワークショップを行った。今後受け入れ先企業の資源→ビジネスモデル→価値の視点の企業分析を行い、受け入れ先企業の経営デザインシートを作成。経営をデザインするという思考方法の習得が期待でき、また、企業と学生のコミュニケーションツールとして、大学全体で活用することを検討する。

【講義】

テーマ:「将来を描く経営デザインシート～価値デザイン社会を目指して～」

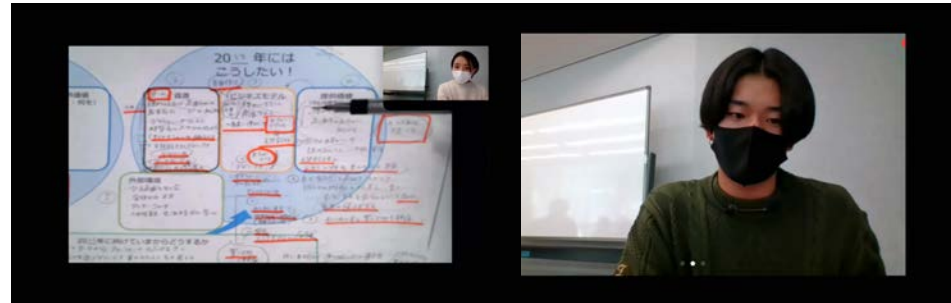
講師:内閣府知的財産戦略推進事務局

内容:経営デザインシート制作の目的活用方法および制作事例について

【ワークショップ】学生各々が、10年後のなりたい自分を構想して経営デザインシートを作成した。数名の発表・学生間での議論、講演者からの論評を実施した。



“選ばれないと売れない時代”
これまでの価値を生み出す仕組みを把握し、ニーズやウォンツに訴求できるこれからの価値を生み出す仕組みを構想することが重要であることが学生に語り伝えられた。
内閣府知的財産戦略推進事務局



制作したシートと発表(学生 松元芽伊さん)

経営デザインシートを活用した感想・効果

- 「ファッションを通じ高齢者がわくわくする社会をつくる」「グローバル市場でマーケティング活動をする」と明確に将来を描く同級生の発表から強い刺激を受けた。(学生)
- 将来を構想して、今後の学びや身につけるべきものが何か気づくことができた。(学生)
- 学生が受入れ先企業の将来を構想することが、新しい大学教育となる。(教員)